

Google Jamboard を使ったワークシート例 3 種

※使用するイラストや枠などは、教育目的で使えるフリー素材を探して作成します。

【1】果物・野菜のビンゴゲーム 活動とワークシート例：

《全体の活動で》

ほしいもの（または好きなもの）をマス内に入れ、児童が教師に尋ねます（役割を逆にしてもよい）。先生や相手の好みを予想して考えさせるとよいでしょう。

Ss: What food do you want? (What food do you like?)

T: I want.... (I like....)

《ペアの活動で》

ペアの相手がほしいと思うものをマス内に入れ、お互いに当て合います。










S1: Do you want (a peach)? (自分のマスにあるものを尋ねる)

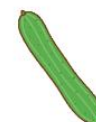
S2: (マス内にイチゴがあれば) Yes, I do. (自分のマスにあるものを尋ねる) Do you want (a carrot)?

S1: (マス内にニンジンがなければ) No, I don' t.

☆何がほしいか予想して、ビンゴをめざそう！





【2】「オリジナルカレーをつくろう」活動とワークシート例：

卒業お祝いの給食メニューを考える活動です。カレー、チャーハン、ピザ、スパゲッティなどのなかから、6年生が好きなものを事前にインタビューしてリサーチし、カレーになったときに作成したfワークシートです。栄養のバランスも考慮し、グループで、デジタル画面上でオリジナルメニューを考える活動に使用します。以下は3人グループの会話例です。

※このほかに、栄養士の先生と相談して、元になるメニューを決めるパターンもあります。直近ではオリジナル丼で行いました。児童たちが考えたプレゼンの結果、「野菜たっぷり照り焼き丼」が選ばれ、実際に3月に給食メニューとして全校生に食べてもらい、とても好評でした。

A: What do you want?

B: I want carrot.

A: OK.

C: I want cheese.

A: Me, too.

【3】「友達のためにお道具箱セットを作ろう！」活動とワークシート例：

ペアになって、相手が必要なもの、欲しいものを質問しながら、その場で道具箱を作っていく活動です。

A: Do you want erasers?

B: Yes, I do.

A: How many erasers do you want?

B: Two, please.

